

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 日本証券金融株式会社
 コード番号 8511 URL <http://www.jsf.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 増瀨 稔
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 前田 和宏
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

TEL 03-3666-3184

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	21,530	△38.0	4,926	—	4,165	—	2,500	—
21年3月期第3四半期	34,704	—	△4,262	—	△4,284	—	△5,798	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	27.02	—
21年3月期第3四半期	△61.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	4,926,685	112,345	2.5	1,213.76
21年3月期	5,293,277	107,232	2.3	1,158.32

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 112,345百万円 21年3月期 107,232百万円

(注) 自己資本比率=自己資本/負債(※)・純資産合計×100(※預り担保有価証券、借入有価証券等を除く)

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—	7.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社グループの主たる業務である証券金融業の業績は、株式市況・金利等の動向により大きく影響を受けるため業績予想の開示を行っておりませんが、当社グループの業態に適した開示を行うことを目的に試算値等を掲載することとしております。試算値等は3ページに記載しております。なお、業績につきましては、四半期毎に合理的な見積もりが可能となった時点で速やかに開示しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	93,700,000株	21年3月期	93,700,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,139,546株	21年3月期	1,124,104株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	92,561,312株	21年3月期第3四半期	93,677,207株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

<試算値等>

(注) 連結業績試算値の当四半期における修正の有無 有

<通期>

	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表試算値 (A)	4,900	4,900	3,200	34.57
今回発表試算値 (B)	4,800	4,000	2,200	23.77
増減額 (B-A)	△100	△900	△1,000	—
増減率 (%)	△2.0	△18.4	△31.3	—

[試算値の前提とした貸借取引業務に係る残高]

貸借取引平均残高：貸付金 3,100 億円、貸付有価証券 3,700 億円

貸借取引金利等：融資金利 年 0.97%、貸株等代り金金利 年 0%、貸株料 年 0.4%

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至同年12月31日）における株式市場についてみますと、期初793ポイントで始まった東証株価指数（TOPIX）は、5月の世界的な株高や米国大手金融機関のストレステスト結果を好感した金融不安の後退を受けて堅調に推移する展開となりました。7月前半に米国景気の底入れ期待の後退や国内政局の不透明感が嫌気され一時下落したものの、その後は国内景気や企業業績の回復期待が高まったことやアジア株式市場の上昇を受けて再び堅調に推移し、8月下旬には当期間中のピークとなる975ポイントまで上昇しました。9月以降は円高の進行、民主党政権の政策不透明感、国内主要企業の相次ぐ増資による需給悪化懸念などを背景に反落し、11月下旬には811ポイントとなりましたが、年末にかけて、政府と日銀が協調してデフレ対策に乗り出したことなどから持ち直し、12月末は907ポイントで取引を終えました。

この間、東京市場における制度信用取引買い残高は、景気回復期待を背景とした個人投資家の新規買いを中心に増加し、期初の6千億円台から6月中旬には1兆1,616億円と平成20年10月以来の1兆円台の水準を回復しました。その後減少する場面もみられたものの、概ね堅調に推移し、10月中旬以降は1兆3千億円台となりましたが、12月以降の株価上昇局面において、個人投資家による利益確定の売りが広がったことから減少し、12月末は1兆1千億円台となりました。一方、同売り残高は9月までは概ね6千億円台から7千億円台で推移しましたが、10月以降は株価の下落局面での買い戻しが進んだことなどから減少し、4千億円台から5千億円台で低調に推移しました。

このような環境下において、当第3四半期連結累計期間の貸付金総残高（期中平均）は5,912億円となりましたが、前年同期比で見ますと2,915億円の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間の連結営業収益は、貸借取引貸付金利息および債券貸借取引における借入有価証券代り金利息が減収となったことから、21,530百万円（前年同期比38.0%減）となりました。一方、同営業費用は、資金調達に伴う支払利息が大幅に減少したことに加え、子会社である日証金信託銀行株式会社における有価証券評価損の計上が剥落したことなどから10,478百万円（同66.7%減）となりました。また一般管理費は、信用コストの減少から6,124百万円（同18.1%減）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結営業利益は4,926百万円、同経常利益は持分法による投資損失（営業外費用）942百万円を計上したことなどから4,165百万円となり、同四半期純利益は2,500百万円となりました。

次に各業務別の営業概況をご報告いたします。

貸借取引業務においては、貸借取引貸付金が期中平均で3,252億円と前年同期比415億円減少したほか、貸付金利を引き下げたこともあり貸付金利息は減収となりました。一方、貸借取引貸付有価証券は期中平均で3,877億円と同158億円減少し、貸株料は概ね前年同期並みの水準となったものの、品貸料が減少したことから有価証券貸付料は減収となりました。この結果、当業務の営業収益は10,091百万円（同30.3%減）となりました。

公社債貸付・一般貸付業務においては、個人・一般事業会社向けおよび金融商品取引業者向け貸付ともに前年同期の残高水準を下回り、公社債貸付・一般貸付の期中平均残高は469億円となりましたが、前年度後半から行っている現金担保付株券等貸借取引が寄与し、当業務の営業収益は944百万円（同0.2%増）となりました。

有価証券貸付業務においては、債券営業部門において政策金利の引き下げに伴う取引レートの低下により借入有価証券代り金利息が減収となり、また一般貸株部門においても受渡遅延回避目的での借株需要が減少したことから、当業務の営業収益は1,135百万円（同73.3%減）となりました。

信託銀行業務においては、政府向け貸出が減少したことにより、信託銀行貸付金の期中平均残高は2,041億円と同2,497億円の減少となり、当業務の営業収益は4,445百万円（同37.7%減）となりました。

その他の収益は、保有国債の利息収入が減少したことなどから、4,133百万円（同41.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末（平成21年12月31日）の総資産については、投資有価証券が増加したものの、有価証券、貸付有価証券等が減少したことから、4兆9,266億円と前連結会計年度末に比べ3,665億円減少しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期末における現金および現金同等物は21,509百万円（前連結会計年度末比18,552百万円増）となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入等により、20,688百万円の流入超（前年同期間4,413百万円の流入超）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形・無形固定資産の取得による支出等により、550百万円の流出超（前年同期間451百万円の流出超）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払いによる支出等により、1,586百万円の流出超（前年同期間7,109百万円の流出超）となりました。

[参考]

当社グループの貸付金状況（平均残高）

	前年同期間 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年12月31日		前連結会計年度（通期） 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
貸借取引貸付金	億円 3,667	% 41.5	億円 3,252	% 55.0	億円 3,363	% 41.7
公社債貸付金・一般貸付金 （うち一般信用ファイナンス）	544 (156)	6.2 (1.8)	469 (171)	7.9 (2.9)	518 (142)	6.4 (1.8)
買現先勘定	1	0.0	4	0.1	0	0.0
信託銀行貸付金	4,539	51.4	2,041	34.5	4,108	50.9
その他	75	0.9	145	2.5	77	1.0
合計	8,828	100.0	5,912	100.0	8,068	100.0
（参考） 貸借取引貸付有価証券	4,036	—	3,877	—	3,961	—

当社グループ業務別営業収益の状況

	前年同期間 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年12月31日		前連結会計年度（通期） 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
貸借取引業務	百万円 14,483	% 41.7	百万円 10,091	% 46.9	百万円 19,638	% 44.3
貸借取引貸付金利息	3,250	9.4	2,515	11.7	3,899	8.8
借入有価証券代り金利息	1,460	4.2	1,439	6.7	1,992	4.5
有価証券貸付料	9,444	27.2	5,780	26.8	13,278	30.0
公社債貸付・一般貸付業務	941	2.7	944	4.4	1,275	2.9
有価証券貸付業務	4,257	12.3	1,135	5.3	4,848	10.9
株券	411	1.2	243	1.1	462	1.0
債券	3,845	11.1	892	4.2	4,386	9.9
信託銀行業務	7,137	20.6	4,445	20.6	8,780	19.8
貸付金利息	2,759	8.0	1,025	4.8	3,348	7.6
信託報酬	160	0.5	178	0.8	209	0.5
不動産賃貸業務	824	2.4	779	3.6	1,091	2.5
その他	7,060	20.3	4,133	19.2	8,664	19.6
合計	34,704	100.0	21,530	100.0	44,299	100.0

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主たる業務である証券金融業の業績は、株式市況・金利等の動向により大きく影響を受けるため業績予想の開示を行っておりませんが、当社グループの業態に適した開示を行うことを目的に試算値等を掲載することとしております。試算値等は3ページに記載しております。

なお、個別業績の試算値につきましては次のとおりです。

[個別業績の試算値]

< 通期 >

	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表試算値 (A)	3,500	3,900	2,400	25.79
今回発表試算値 (B)	3,400	3,800	2,400	25.79
増減額 (B-A)	△100	△100	—	—
増減率 (%)	△2.9	△2.6	—	—

[試算値の前提とした貸借取引業務に係る残高]

貸借取引平均残高：貸付金3,100億円、貸付有価証券3,700億円

貸借取引金利等：融資金利 年0.97%、貸株等代り金金利 年0%、貸株料 年0.4%

また、連結子会社である日本ビルディング株式会社は堅調な利益を、日証金信託銀行株式会社については信用コストの増加を見込んでおります。

持分法適用関連会社である株式会社J B I Sホールディングスについては、企業の投資抑制姿勢が依然強いことによる売上高の落ち込みに加え、同社子会社の固定資産の減損損失や希望退職者募集に伴い発生した特別加算金等を特別損失に計上したことにより赤字の見込みとなっております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,507	2,957
コールローン	2,000	7,000
有価証券	2,187,303	2,697,282
短期貸付金	560,573	503,070
貸付有価証券	297,110	460,437
保管有価証券	55,911	23,000
寄託有価証券	161,645	94,262
繰延税金資産	496	536
借入有価証券代り金	1,060,051	1,042,222
その他	3,688	33,382
貸倒引当金	△2,914	△2,820
流動資産合計	4,352,374	4,861,332
固定資産		
有形固定資産	6,849	6,965
無形固定資産	1,465	1,611
投資その他の資産		
投資有価証券	564,923	422,115
繰延税金資産	—	107
その他	1,867	1,928
貸倒引当金	△794	△782
投資その他の資産合計	565,996	423,367
固定資産合計	574,311	431,945
資産合計	4,926,685	5,293,277
負債の部		
流動負債		
コールマネー	1,424,800	1,387,800
短期借入金	1,456,010	1,673,810
1年内返済予定の長期借入金	—	2,500
コマーシャル・ペーパー	61,000	15,000
売現先勘定	453,015	637,881
未払法人税等	680	103
賞与引当金	208	432
役員賞与引当金	—	28
貸付有価証券代り金	808,368	791,540
預り担保有価証券	293,117	244,306
借入有価証券	215,071	332,259
貸付有価証券見返	6,478	1,133
その他	40,787	46,682
流動負債合計	4,759,536	5,133,479

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	48,500	48,500
繰延税金負債	2,921	505
再評価に係る繰延税金負債	98	98
退職給付引当金	2,314	2,307
役員退職慰労引当金	103	277
その他	864	876
固定負債合計	54,802	52,565
負債合計	4,814,339	5,186,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	93,574	92,471
自己株式	△662	△648
株主資本合計	108,094	107,004
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,108	84
土地再評価差額金	143	143
評価・換算差額等合計	4,251	228
純資産合計	112,345	107,232
負債純資産合計	4,926,685	5,293,277

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業収益		
貸付金利息	6,957	4,316
借入有価証券代り金利息	5,160	2,450
有価証券貸付料	10,200	6,140
その他	12,386	8,623
営業収益合計	34,704	21,530
営業費用		
支払利息	13,833	4,077
有価証券借入料	8,449	4,873
その他	9,203	1,528
営業費用合計	31,485	10,478
営業総利益	3,218	11,051
一般管理費	7,480	6,124
営業利益又は営業損失(△)	△4,262	4,926
営業外収益		
受取配当金	169	120
その他	86	67
営業外収益合計	255	188
営業外費用		
持分法による投資損失	261	942
その他	16	6
営業外費用合計	278	949
経常利益又は経常損失(△)	△4,284	4,165
特別利益		
固定資産売却益	0	—
役員退職慰労引当金戻入額	26	—
特別利益合計	26	—
特別損失		
固定資産除却損	25	37
投資有価証券評価損	471	—
特別損失合計	496	37
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,754	4,128
法人税、住民税及び事業税	1,139	1,414
法人税等調整額	△95	212
法人税等合計	1,043	1,627
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,798	2,500

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,754	4,128
減価償却費	1,177	772
固定資産除売却損益(△は益)	25	37
有価証券関係損益(△)	7,486	△788
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,060	106
賞与引当金の増減額(△は減少)	△212	△224
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32	△28
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26	6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△213	△173
受取利息及び受取配当金	△22,149	△13,146
支払利息	14,058	4,077
持分法による投資損益(△は益)	261	942
短期貸付金の純増(△)減	482,467	△57,503
コールローン等の純増(△)減	17,000	5,000
借入有価証券代り金の増減額(△は増加)	△556,021	△17,829
コールマネー等の純増減(△)	△356,200	37,000
短期借入金の純増減(△)	△273,300	△220,300
売現先勘定の純増減(△)	384,574	△184,866
コマーシャル・ペーパーの純増減(△)	△68,000	46,000
貸付有価証券代り金の増減額(△は減少)	47,827	16,827
貸借取引担保金の純増減(△)	4,300	△1,034
長期借入金の純増減(△)	△2,500	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△6,223,072	△6,181,805
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	6,556,296	6,574,893
その他	△10,650	875
小計	△543	12,969
利息及び配当金の受取額	21,531	12,794
利息の支払額	△14,232	△4,443
法人税等の支払額	△2,445	△825
法人税等の還付額	103	194
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,413	20,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△32	△14
有形固定資産の取得による支出	△75	△211
有形固定資産の売却による収入	16	—
無形固定資産の取得による支出	△259	△324
その他	△99	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△451	△550
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△4,884	△0
配当金の支払額	△2,222	△1,581
その他	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,109	△1,586

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,147	18,552
現金及び現金同等物の期首残高	4,628	2,957
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,481	21,509

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループの事業区分は、証券金融業の単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

存外子会社がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期 会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,428	821
コールローン	80,000	50,000
有価証券	1,343,126	1,760,788
短期貸付金	350,195	311,948
貸付有価証券	297,110	460,437
保管有価証券	55,911	23,000
寄託有価証券	161,645	94,262
繰延税金資産	482	526
借入有価証券代り金	968,085	995,423
その他	1,476	31,647
貸倒引当金	△633	△907
流動資産合計	3,267,828	3,727,948
固定資産		
有形固定資産	2,096	2,189
無形固定資産	1,272	1,539
投資その他の資産		
投資有価証券	348,551	255,672
関係会社株式	27,374	27,374
繰延税金資産	—	107
その他	1,061	1,138
貸倒引当金	△374	△362
投資その他の資産合計	376,611	283,929
固定資産合計	379,980	287,657
資産合計	3,647,808	4,015,606
負債の部		
流動負債		
コールマネー	1,047,800	1,058,200
短期借入金	840,530	1,208,500
1年内返済予定の長期借入金	—	2,500
コマーシャル・ペーパー	61,000	15,000
売現先勘定	264,571	252,984
未払法人税等	506	47
賞与引当金	188	384
役員賞与引当金	—	9
貸借取引担保金	29,089	30,124
貸付有価証券代り金	770,570	754,617
預り担保有価証券	293,117	244,306
借入有価証券	215,071	332,259
貸付有価証券見返	6,478	1,133
その他	699	3,767
流動負債合計	3,529,622	3,903,836

(単位：百万円)

	当第3四半期 会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	4,000	4,000
繰延税金負債	2,333	—
再評価に係る繰延税金負債	98	98
退職給付引当金	2,218	2,219
役員退職慰労引当金	53	86
その他	16	20
固定負債合計	8,720	6,425
負債合計	3,538,343	3,910,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	89,589	88,805
自己株式	△503	△502
株主資本合計	104,266	103,484
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,054	1,716
土地再評価差額金	143	143
評価・換算差額等合計	5,197	1,859
純資産合計	109,464	105,344
負債純資産合計	3,647,808	4,015,606

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	増減(△)
営業収益			
貸付金利息	4,619	3,374	△1,245
借入有価証券代り金利息	5,048	2,452	△2,595
受取手数料	388	389	1
有価証券貸付料	10,198	6,131	△4,067
その他	6,931	4,050	△2,881
営業収益合計	27,186	16,398	△10,788
営業費用			
支払利息	9,090	2,601	△6,489
支払手数料	835	632	△203
有価証券借入料	8,449	4,873	△3,575
その他	442	49	△393
営業費用合計	18,818	8,156	△10,661
営業総利益	8,368	8,242	△126
一般管理費	5,985	5,073	△912
営業利益	2,383	3,169	785
営業外収益			
受取配当金	980	350	△630
その他	61	61	0
営業外収益合計	1,041	412	△629
営業外費用			
自己株式取得費用	9	—	△9
その他	0	0	0
営業外費用合計	9	0	△9
経常利益	3,414	3,581	166
特別利益			
貸倒引当金戻入額	—	261	261
特別利益合計	—	261	261
特別損失			
固定資産除却損	1	32	31
投資有価証券評価損	4	—	△4
特別損失合計	5	32	26
税引前四半期純利益	3,409	3,810	401
法人税、住民税及び事業税	1,138	1,251	113
法人税等調整額	△96	194	290
法人税等合計	1,041	1,445	403
四半期純利益	2,367	2,365	△2

※1株当たり四半期純利益

21年3月期第3四半期 25円15銭

22年3月期第3四半期 25円42銭

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。